



馬場代表、本日はお忙しい中、貴重なお時間を作って頂きありがとうございます。普段お聞き出来ないこともあるのですが色々お伺いさせていただきます。

維新は業界団体ではなく国民に向く

西川市議(以下、西川) 物価高騰が続いて、ガソリン代が再び値上がりするとも言われています。政府自民党は卸元に補助金を出していますが、付け焼き刃的な対策ではないでしょうか。

馬場代表(以下、馬場) ここは非常に重要なポイントです。自民党も我々も保守政党で、似ていると思われる方が多いのも事実です。外交と安全保障政策はほぼ同じ。しかし内政は全然違います。業界でなく、国民に向くことを基本としています。

西川 ガソリンでいえば我々日本維新の会が主張した「トリガー条項」ですか。

馬場 はい。暫定税率をやめればリッターあたり25円一気に安くなりますよ。ところが政府自民党はやめない。卸元に補助金を出しています。

西川 税金を誰に、どのように使うかの視点が自民党とまったく違いますね。

馬場 本来、国民へどう環流するかを考えていくべきなのです。自民党は霞ヶ関や業界の意見を重視して卸元に補助金を出してしまう。納税者である国民の皆さん方のために直接使う。これが我々の基本的な考え方です。

西川さんの突破力に期待

西川 おかげさまで我孫子市政に携わらせていただいて4年が経とうとしています。あらためて我々日本維新の会の地方自治への取り組み方について、お互いの想いを共有させてください。

馬場 ご承知の通り、我々は地方自治体の改革から始まった政党です。財源も権限も地方にもっと移譲していくべきというのが根底にあります。とにかく自治体の裁量に任せることが活性化につながると思います。

西川 実際市政に関わってみて、法律や条例でがんじがらめになっていることを痛感しました。法的には確かに正しいのですが、それが70年前の法律だったりして、今の時代に合わない場合もあります。そこに風穴を開けることが、政治だと思いました。

馬場 西川さんの突破力に期待していますよ。

健康な人を増やす政策を

西川 体操指導者でもありましたので健康政策にも取り組んでいますが、国に提案したいことがあります。

馬場 为什么呢？

西川 国民健康保険を所得に応じて保険料を徴収するのではなく、医療費が少なかった、かからなかった人には自動車保険のように保険料を下げるといった施策を導入してはいかがでしょうか？ 料金が安くなるなら健康でいようとする人が増えるのではないかと思います。

馬場 それは面白い考え方ですね。しかし自民党政権では絶対無理です。維新の会が政権をお預かりして、国民健康保険だけでなく、年金、医療、社会保険もセットにして根本から変えていきたいと思っています。

西川 制度設計をやり直すところまで追い込まないと。抜本的な改革ですね。

馬場 はい。国民健康保険会計はご存知の通り国民が払う保険料で成り立っています。ところが医療費の支払いは増える一方で、人口減で保険料収入は減っていく。年金制度と同じで国民の負担がますます重くなるのが火を見るより明らかです。

西川 はい。私自身は医療費の問題も考えながら、市民の皆さんがいつまでも健康であり続けるよう様々な提案をしていきたいと思っています。

馬場 体操のお兄さん、頑張ってや！もちろん議員もですよ。

